



浜小だより

10月号
NO. 7

茅ヶ崎市立浜須賀小学校 TEL 85-1184
令和3年10月1日 校長 松永 忠弘

「自ら考え、行動する力」 ～新型コロナウイルス感染防止の取り組み～

夏休み明け2週間の短縮午前授業を経て、9月13日（月）より通常日課を再開いたしました。

その間、「健康観察票の回収・確認の徹底」「熱中症に注意を払いながらのマスク着用の徹底」「手洗いの徹底」「身体的距離の確保」「感染防止対策を講じてもなお感染リスクの高い活動（リコーダー・鍵盤ハーモニカ・調理実習・近距離での長時間のグループワークなど）についての実施の見合わせ」「教室の十分な換気」「放課後の教室の消毒作業」など、子どもたちの安全・安心を最優先に感染防止のための対策を徹底してまいりました。



今回は、緊急事態宣言下「感染レベル3」における感染防止対策でしたので、今まで以上に子どもたちにとっても制限の多いものとなりました。授業中の活動に加えて、休み時間も「密を避ける対策」を取りました。各学年の職員が見守る中、短縮午前日課の2週間は、1日おきの外遊び。通常日課が再開してからも全校の半分ずつが20分休み・昼休みで交代で外に出るようにしました。もちろん、放課後の外遊びもできません。ずいぶん窮屈な1か月だったと思います。



第5波の感染状況は最も大変な時期をようやく脱し少し落ち着いてきましたが、いつまた拡大するかなだれも予測することはできません。

しかし、子どもたちは確実に成長しています。「新しい生活様式」(①身体的距離の確保②マスクの着用③手洗いや「3密(密集、密接、密閉)を避ける」など)を常に意識しながら、自分自身と自分の周りの人、家族を守るためにどうしたらよいか・・・「自ら考え、行動する力」を確実に身に付けています。

朝、登校して昇降口が開くまでの間、子どもたちはしっかりと「身体的距離」を保って並んで待っています。夏休み明け1週間ほどは、目印の白線を引いていましたが、今はそれも必要ありません。

給食の時間は、「いただきます」をしてマスクを外した途端「黙食」です。どの教室も「シーン」と水を打ったように静かに食事をしています。教室を見て回っていて、子どもたちの頑張りに胸が打たれます。

そうした子どもたちの頑張りに応えるべく、今後も、感染防止を図った教育活動の工夫を、職員一同知恵を絞り進めてまいりたいと思います。



「職員のワクチン接種」

職員のワクチン接種に伴う9月27日、28日の急な日課の変更につきまして、保護者・地域の皆さまのご理解、ご協力に感謝申し上げます。計画的なワクチン接種ができない中での苦渋のお願いをさせていただきました。職員のワクチン接種は、「学習の保障」と「子どもたちの安全」に資するものであることをご理解くださいますよう改めてお願い申し上げます。